

特定テーマ研究助成募集開始のご案内

鹿島学術振興財団では、複数分野の研究者グループによる挑戦的な分野横断・融合研究を支援するため実施しております「特定テーマ研究助成」の募集を2026年7月1日より開始いたします。

本研究助成は、当財団が専門家の提言等を踏まえて設定する「特定テーマ」について、幅広い分野の研究者グループから、多様な視点・問題意識に基づく分野横断・融合研究を公募し、助成を行うものです。

近年、自然環境・社会環境の急速な変化に伴い、社会課題は一層複雑化しており、その解決には総合的な視野に立った研究が求められています。こうした背景のもと、本研究助成では、学問分野を超えた多様な研究者の連携により、新たな知見や社会的価値の創出につながる研究を支援します。

応募いただく研究者グループには、広義の自然科学、人文・社会科学等の研究者に加え、行政機関や民間機関等において実務に携わる方々の参画も期待しております。

■申請（代表）者

日本国内の大学・大学院、高等専門学校、公的研究機関等に所属する常勤の研究者

■助成金額・期間

助成金額：1件あたり最大2,000万円

助成期間：原則2年間（研究成果の出版・取りまとめ等のため最長3年まで延長可）

今回募集の助成開始時期：2027年4月～

■新規採択予定件数

4～5件程度

■募集期間 2026年7月1日（水）～10月15日（木）17:00

当財団電子申請システムより申請

2027年度助成対象の特定テーマ研究領域と特定テーマ

特定テーマ研究領域

様々な観点から近未来の社会のあり方を想定し、それを支える建築、都市、地域、社会基盤システムにおいて新たに必要とされる技術開発や、それらを適切に機能させるための社会制度等のあり方に貢献する調査、研究。

公募対象特定テーマ 申請は以下テーマの中から選択

① 地域の持続的経営に資する研究

少子高齢化や他地域への流出により人口が減少する中で、建築ストックや社会基盤システム等を見直し、あるいは適切に維持、有効活用することで、地域の持続的経営に資する研究

② カーボンニュートラルな社会の早期実現に資する研究

都市や住環境の新しい脱炭素技術や、社会や建築物・資材などの供給システムの急激な転換を促す社会的な取り組みなど、カーボンニュートラルな社会の早期実現に貢献する研究

③ レジリエントな社会や都市の形成に資する研究

自然災害や感染症、事故などの多様なリスクに対し、工学・理学および社会科学等の知見を総合的に活用し、平時からの備えや適応力の向上にとどまらず、迅速な復旧・復興を実現するレジリエントな社会や都市の形成に資する研究

④ インクルーシブな町づくりに関する研究

障害者等も包摂（インクルード）する暮らしやすい町を作るための、建物や交通システムのようなハードの側面とそこに住む人間のあり方といったソフトの側面の双方からの研究

⑤ 人口減少・少子高齢化に伴う建設業の問題解決のための研究

人口減少・少子高齢化が進む中、建設分野が直面する労働者不足、生産性向上、環境配慮等の問題解決に資する技術・制度・法的枠組みの実現を目指す研究。

⑥ AI・データ駆動・ロボティクスによる建築・建設・不動産システムの変革に関する研究

深刻な労働力不足やインフラ老朽化に直面し、抜本的な生産性向上と技術革新が求められている建築・建設・不動産分野において、AI、データマイニング、数理最適化、マーケットデザイン、マッチング理論、ロボティクス、フィジカルAI、BIM/CIM、デジタルツイン、センシング等を活用し、これら分野における計画、設計、施工、維持管理、更新に関わる仕組みを再構築する研究

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人鹿島学術振興財団 HP よりお願いいたします。

<https://www.kajima-f.or.jp/>